



園長 引地美津代

1月は、あっという間に終わってしまいましたね。2月は大事に過ぎていきたいと思いながら、スケジュールをみて「・・・」。出来るだけ時間を空けて子どもたちと過ごしたいと願っています。

1月の終わり、幼児のクラスで過しているこんな会話に思わず笑ってしまいました。

Aくん「ね・鬼っていつ来る？」Bくん「かえで保育園にはくるよ～！言うこと聞かないと絶対来るってお母さんが言ってた！」

A・Cくん「エ～！だったらぜったいくるやん！」「あかん・・・」「どうする？」

Bくん「そうやで・だからなかよくしなあかん。おもちゃもだいじにな」

A・Cくん「分かった。そうしよ。」といつもすぐにけんかになる3人が手を繋いで誓い合っていました。

「皆、大変だね。鬼が来るのは、病気や意地悪な心や悪いことを鬼が引き取りにきてくれるの。だから保育園に絶対来てもらわないと困るの。今みたいに優しい気持ちで過していたら大丈夫よ！」という

「園長先生は大丈夫？けんかしてない？」「どうかな・皆で悪い心や病気を持って帰ってもらえるようお願いしようね。」と言うと3人は顔を見合わせて更に結束して階段を下りていきました。

みんなで鬼はそと！福はうち！の掛け声で今年も元気に過せますように・・・

今年もちょっと細めの赤鬼がやってきます。

さて、節分の翌日の2月4日の成長発表会。今年も子どもたちは色々な方法で「自分」を披露します。年々子どもたちは演じる楽しさを味わえるようになってきています。今年はそれぞれのクラスで過した生活の中での「これぞ！」と言った出来事を少しアレンジして劇にしたり、歌にしたり・・・

いつもはかえでカフェのお母様たちと楽しい演目をご披露してきましたが、子どもたちの演技や歌の時間があれもこれもみて欲しい！ということで職員や保護者の方の演目はお休みすることにしました。

ただ、会の終わりには素敵な歌を皆で大合唱できたら・・・と計画しています。お楽しみに！！

毎年、この成長発表会の時期になるとそれぞれの一年間の成長を感じ、練習風景を見ながら「ジーン」と胸が熱くなることが多くあります。いつも泣いてばかりだったのに・・・お友達とうまくかかわれず、怒ってばかりいたのに今は共にお互いの間合いを感じながらせりふを言おうとしている・・・

おしゃべりが苦手だったのに歌詞をしっかりと歌いこんでいる・・・などお子様の成長を感じ、この瞬間を少しでも多く保護者の方々に届けたいと思います。めばえさんからだいちまで85名の子どもたちと職員の成長をしっかりと見ていただきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

今年最後のかえでカフェとダンディタイムを3月の25日の展示の日にかけて共同で一つの作品を作成して頂きたいと思っています。

別紙でお誘いをしますので、子どもたちがアツという作品の案を考えておいてください。

例」ダンボール基地・風船アート・紙テープで蜘蛛の巣づくり

28年度の最後の作品作りを少しずつ作り上げて行けたら・・・と思います。どうぞよろしく申し上げます。

にこにこメッセージ♪

主任保育士 藤森 寿美

先月は全国各地で寒波が到来がしました。雪の降る地域では大雪による交通マヒなどで大変でしたが、この辺は雪のちらつく程度でした。天気予報を見るたび雪マークが付いた日の朝は早起きをし、“今日こそは”、と窓越しに外を見渡しても寒さを感じるだけで雪はなし、何とか子どもたちに少しでも雪を見せてあげたいと思う今日この頃です。

1月21日は西宮市民間保育園の「新年の集い」が宝塚ホテルで行われ、保育のご協力を頂けたおかげで職員全員が参加させて頂きました。I部では、「ジャパネットたかた・高田明氏」の講演会がありました。お話しの中で「今を一生懸命生きる、今の瞬間を一生懸命生きることで明日が変わる」「自分が一生懸命行ったことは失敗にはならない」と繰り返し何度もお話し下さいました。その話しを「子ども」に置き換えて考えて見ました。一人ひとりの子どもたちはどんな時も一生懸命全力で生きています。だからこそたくさんの成長を見ることができます。私たちの役割は環境を整え、子どもの声に耳を傾け、思いを受け止めていくことだと痛感しています。子どもたちはぶつかることも多々あり、「笑いあり涙あり」ですが全身で受け止め、気持ちに寄り添えることのできる関わりを持ち続けたいと思います。講演会のタイトルは「夢持ち続け日々精進」でした。全力で生きる子どもたちとともに私も日々精進できればと思います。II部はかえで保育園の夢をもち続けている保育をスライドをもとに発表しました。

私事でご心配をおかけしました。復帰した折にはたくさんの温かいお言葉ありがとうございました。回復に向かっています。通常と変わりなく職務についていますので今後もよろしくお願い致します。

～乳児からのお知らせ・お願い～

- ・靴下は靴下入れに入れて下さい。
- また、記名も必ずお願いします。

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・外遊び用の上着は必ず週末にお持ち帰りください。
- ・諸費の袋は保護者の方が保育者に渡して頂くようお願い致します

〔せんせいからのおはなしコーナー〕

この時期になると、私は成長発表会で子どもたちの成長を見るのがとても楽しみです。

保育園での子どもたちの一年の成長は本当にすごいな！といつも感じます。そんな子どもたちの姿と私を比べると、この一年でどれだけ成長できたのだろうと思いました。

食事を提供する立場として私は子どもたちに喜んでもらう事を第一に考えています。子どもたちからの「お誕生日ケーキ美味しかった」「今日のご飯はスペシャルだ」担任の先生からの「子どもたちよくおかわりしていたよ」「あの野菜食べられるようになったよ」保護者の方からの「美味しそうですね」「ありがとうございます」という言葉がけにいつも感謝の気持ちでいっぱいです。もっともっと給食をよくしたい！という気持ちになります。私はかえで保育園の子どもたち、保護者の方、職員の仲間達に成長させてもらっているな。と感じました。子どもたちの成長の様子を見ながら、喜んでもらえるように給食を提供したいと思います。

西原 早希

～めばえぐみ～

ねらい：「自分の気持ちを受けとめてもらい、安心して過ごす」

う た：「あたまかたひざぼん」「かごかご」「いとまきのうた」

1月はとても寒い日が多く、雪の降る日もありましたね。めばえのお部屋の窓を開けると、冷たい風と一緒に雪もお部屋の中に入ってきて、みんなで窓から身を乗り出して外を見ながら雪を楽しみました。外から幼児クラスのお友達がやってきてくれて、手のひらに乗せた雪や服についた雪を見せに来てくれて、めばえさんもとっても嬉しそうでした。

寒い日は、ランチムールや2階の部屋にも行ってみたいりしてあそんでいきたいと思います。

“やってみたい”

自分の物、お友達の物を理解できるようになってきている子が多いめばえさんです。園庭遊びの時には、全部自分で自分で物を取ってきて、自分で帽子をかぶろうとしたり、靴を履こうと頑張っています。どうしても出来ない時には保育者のところへ「やってー」と持ってきます。自分の準備が終わると、まだ出来ないお友達の物も持って「どうぞ」と渡してくれています。友達同士で「どうぞ」や「ありがとう」など、ことばや仕草でのやりとりも出来るようになってきていて、とっても微笑ましいです。



“大好きなお兄ちゃん・お姉ちゃん”

いつも窓から見に来てくれるお友達、お手伝い当番に来てくれるだい組、お隣のクラスのふたば組、たくさんのお兄さんやお姉さんが大好きなめばえさんです。

最近では、ふたば組の子達がめばえ組の子たちのことを覚えてくれて名前でも呼んでくれたり、「やさしくするんだよ」と少しお兄さんお姉さん目線で優しく話しかけてくれるようになってきました。園庭では、何でも真似をしてやってみたくて、一緒にあそんでいます。

かえでの子どもたちは、めばえの時にたくさんのお兄さん・お姉さんに優しく接してもらったことが、次のクラスになった時に友達に優しく接することができるようになる、この仕組みが毎年見られる姿です。楽しみです。



“担任の思い”

色々なことが出来るようになり、何でも自分でやってみようという気持ちも強くなってきました。出来なくて泣いてしまう時もありますが、「やってみたい」と思うことができるように、その子の気持ちに寄り添いながらことばをかけていきたいと思っています。大人の言っていることも分かり、ことばも増えてきてどんどん自我が出てきている子も多いです。「これはいや」「あれはしたい」「でもこっちはいや」と自分の気持ちをことばや仕草で思い切り表現してくれるようになりました。子どもたちの色々な気持ちに「これはどうかな」「あれもあるよ」など色々な方向から声をかけてみている毎日です。“どうしてあげたらいいの？”と頭を悩ませることもありますが、「大丈夫、見ているよ」という気持ちが伝わり、安心して自分の気持ちを色々な形で表現できるようになってくれたらいいなと思っています。ひとまわりもふたまわりも大きくなった姿で、次のふたば組へといけるように残り1ヶ月、私たちも子どもたちと一緒に楽しみながら過ごしていきたいと思っています。

～ふたばくみ～

ねらい：「おともだちと関わりあいながら楽しく遊ぼう」

う た：「ひなまつり」「ふしぎなポケット」「キャベツはキャッキッキヤ」

暖かい日や極寒の寒さの日とさまざまな中、子どもたちは「寒いね～」と震えながらも「お外いきたいな～」と嬉しそうに外を眺めています。帽子を被り、上着を着て靴を履き終えると「よーい、どん！」と元気よく築山まで走りだします。少しくらい寒くても子どもたちは平気で、「先生走るよ！」と園庭中を走ります。しばらくすると、ボール投げて追いかけたり「すべり台行こうか！」「まつぼっくりあったよ！」と子ども同士で会話を楽しみながら日々遊んでいます。

～一緒にしよう！～

サンタさんからのプレゼントの「積み木」で遊ぶことが大好きなふたばくみ。1人が積み木を積み上げると「お！すごいね～」「高いね～上手～」と自然と集まり拍手をしています。崩れてしまうと「あ～…」と崩れた積み木を見つめていると「もう1回しようか」の子どもたちの声掛けから「なにつくる～？」と再び高く積み上げて楽しそうに遊んでいます。ままごとやお世話ごっこをする中でも「一緒にしていい？」「いいよ」「いれて」との声から「これどうぞ」「かして」と話す姿も増えてきました。夢中で積み上げているといつの間にか積み木の箱が空っぽに！「ないね～」「空っぽ！」と嬉しそうに空っぽの箱を見せてくれます。



～自分で出来るよ～

園庭から部屋に入る時、始めに帽子、靴下をカゴに入れて手を洗い自分のロッカーから着替えを出し服を着替える流れを生活の中で行っています。以前は保育者と一緒に手の洗い方やロッカーに取りに行くまでの流れをその都度声をかけることがありました。最近は「自分でできるよ」「先生みててね」と自分でしようとする姿を見せてくれることが増えました。時には「できないよ～」と葛藤する姿も見られますが、近くにいるお友だちが着替える様子を見て一緒にしてみると「あ！できた～」ととっても嬉しそうに教えてくれます。



その様子は遊びの中でもよく見られるようになり赤ちゃん人形をみて「寒い寒いって言うてるよ」「お着替えしようね」と優しく声を掛けながらオムツや服を着替えさせてくれます。なかなか上手くできずにいると「どうしたの？」「これする？」と話しかけ「これやって」「これできる？」と先生やお友達に聞いてみる姿も見られます。



“担任の思い”

着替えや手洗い等、生活面では今まで先生に手伝ってもらって行ってきたことが少しずつ自分でできるようになってきました。その中でもお友だち同士で話をするこも増え、会話を楽しむ姿がみられるようになりました。“自分でしたい”“やってみたい”と意欲的な姿がたくさん見られるので残り少ないふたばでの生活ですが、自分でしようとする姿を見守りたいと思います。“できない”ことから“できたこと”への喜びを子どもたち喜びと一緒に共感し過ごしていきたいです。子ども達が遊ぶ中で「一緒に」と友だちと遊ぶ楽しみながら遊ぶ姿も見られますが、時にはお互いに思いが伝わらないこともあります。子どもたち同士で関わる姿を見守りながらもお互いの気持ちを仲立ちし伝えていきたいと思っています。

～つぼみぐみ～

ねらい：「おにごっこや机上遊びなどでルールを守って楽しく遊ぼう」

う た：「しあわせなら手をたたこう・おにのパンツ」

ぐっと冷え込んだ1月でしたが、太陽が出ていると「くついらない」、「だいじょうぶ！！」と園庭まで走っていく程元気いっぱいのつぼみ組。先生とあそぶことよりも“友だち”“お兄ちゃん、お姉ちゃん”と過ごすことの楽しさを感じているようです。おやつの中には、トレイで運んでみたりと幼児クラスへの移行準備が進んでいます。少しずつ言葉が増え始めていますので、担任以外の大人と会話のキャッチボールの面白さを感じて欲しいと思っています。保護者の方々も送迎時に子どもたちとたくさん話してあげて下さいね。

“あこがれ・まねっこ”



ランチルームでの食事が始まってから、ひかり組の子との関わりが遊びの中にも入ってきています。そしてお手伝いをしてもらう事でつぼみ組の子ども達の中に自分より小さい子どもに対して「かわいい」と思う気持ちが出てきました。めばえ組・ふたば組の子を見つけると手を繋ぎにいき、一緒に遊んであげようとしています。子ども達の中で手伝ってもらう事に対して“嬉しい”という思い、“お世話をしただけですごい”という思いが大きくなっているのだと感じました。鉄棒の技などひかり組のペアの子の真似をして、いままでした事のない事にも“チャレンジ”しています。お兄ちゃん、お姉ちゃんはつぼみ組のみんなにとって憧れの存在になっています。これからも異年齢の関わりを大事にしていきたいと思っています。



“いっしょにあそぼ”・“いれて”

異年齢の関わりも多くなってきている中でつぼみ組のみんな遊ぶ事もとても多くなってきています。友達を誘い合って、「むっくりくまさん」をすると5人程が集まり遊んでいました。楽しい様子を見て、一人の子が近くにやってくると「いれて～」と子ども自ら声をかけていました。遊んでいる途中でもすかさず手を離し、間に入れてあげる姿も見られ、大きな成長を感じました。簡単なボールでの遊びも、友だちと一緒にする事で目を見合わせて笑いあう姿があり、子ども同士の世界を楽しんでいます。



一人ずつの遊びから友達も含めた遊びになり、喧嘩もありますが自分の思いを言葉で表すことができるようになりました。



“担任の思い”

鉄棒で遊んでいる時、友達と一緒に遊びたかったが場所が狭く入りにくくて困っている子がいました。その時に「入りたいから少しよってほしい」という思いを「ちょっとどいて」と伝えてしまい、「いやだ！」と断られてしまいました。上手く思いが伝わらず勘違いをして喧嘩になってしまいました。一生懸命言葉で伝えようとするが、思っていることが上手に伝わらなかった時に「違うの～」と何度も諦めず、伝えようとする姿がありました。伝え方によって相手に伝わる思いが違うことが多くなってきて、上手に言葉を選んで伝えることはまだ難しいことではありますが、少しでも子どもたち同士で話をして、自分の気持ち、思いを言葉にして伝えていけるようにしていきたいです。

須藤 聖美 三谷 梨緒 高田 奈沙

ねらい：「物を大切にしよう」「お友達の気持ちを考えてみよう」

う た：「山の音楽家」「ともだちになるために」

1月は体育あそびでもお友達とルールのある遊びを楽しもうと、皆で鬼ごっこをして遊びました。ルールも少しずつ複雑になってきましたが1, 2回遊ぶとルールも覚え楽しく遊んでいます。「先生あそぼー」からお友達を誘って遊ぶようになり成長を感じると共に少し寂しく感じることもあります。体を動かすことが大好きないぶき組は園庭で思いっきり走って遊ぶことが楽しいようでお部屋に戻る時間になると「もうおしまいなん？」とまだまだ遊びたいと教えてくれます。

お正月遊び

凧揚げやすごろくなどお正月のあそびを12月の後半から遊んできましたが、1月に入り書初めや福笑いでも遊んでみました。書初めでは普段使っている絵の具や筆を使って半紙にお絵かきしてみました。紙が薄いので難しいかと思いましたが1, 2回描くと絵の具の量を調節したり、紙を手で押さえたりと工夫して上手に書いていました。特に何を描くかというテーマは決めていませんでしたが「雨、丸、お母さんの絵」などそれぞれにイメージをもってお絵かきしていました。



みんなで遊ぶの楽しいね

タッチしてつかまる鬼ごっこだけでなくグループに分かれてのりレーを楽しんだり、転がしドッチボールやカギ鬼ごっこしたりなど少し複雑なルールも理解して楽しく遊べるようになってきました。時にはタイミングを計ったり、隙をねらったりと考えながら遊んでいます。時にはタッチされてしまったなどで拗ねてしまうこともありますが、何度も挑戦できることなども伝えると気持ちを立て直してまた遊びに参加する姿が見られます。始めは「先生〇〇やろう」と誘っていた子どもたちも先生ではなくお友達を誘って遊ぶようになってきました。一緒に遊ぶ中でお友達と喜んだり、お友達の動きを考えたりしながら一緒に遊ぶことを楽しんでいます。



“担任の思い”

最近のいぶきぐみはとにかくいろいろな所でいざこざがおこっていました。

お友達と遊んでいると「自分ばかりタッチされるのが嫌だった」「カードを配りたかった」「〇〇ちゃんキライ！」とそれぞれにいろいろな思いが出てきます。泣いて表現したり、すねてしまったりとうまく表現できないことが多いのですがどうしたかったのかを言葉にして伝えてあげると「じゃあ変わってあげる」「〇〇したらいいやん」と解決できることもあります。毎日の保育園の生活の中でお友達の思いを知り、どうしたら良いのか一緒に考えながら子どもたちと日々関わっています。そして「友だちっていいなー」と思う気持ち、また玩具や自分の持ち物などを大切に扱う気持ちも育てて欲しいと思います。「壊さないこと」だけが大事にすることではないことも伝えながら「人にはやさしく」「泣かずに伝える」また、使った物は片づける、服は畳んでから鞆に入れるなどもできるようになってほしいと思います。

足立 真裕子

ねらい：「様々なことを自分で試してみる」「自分の思いを知り、表現する」

う た：「ゆきのぺんきやさん」

歌を歌ったり、楽器に触れてみたり、体を動かして表現する機会を持ってきましたが、テーマを一つ伝えるだけで、自分で考えて表現する姿が増えてきました。成長発表会のことを子どもたちに話したときも、保護者の方々に見て欲しいことがたくさんありすぎて、子どもたちもとても悩んでいました。保育園で生活するなかで、楽しかったり、おもしろいと思えること、そして成長したところを見てもらえるように、劇あそびや合奏を楽しんでいる毎日です。



“そらまめくんのベッド”

先月から続いていた、そらまめくんのベッド作りですが、ついに完成しました。みんなで色を塗った段ボールを、ベッドの形にして繋ぎ合わせて、中がフワフワになるように、空気が入った袋を敷き詰めました。

完成した後、みんなで順番に入って寝てみると、

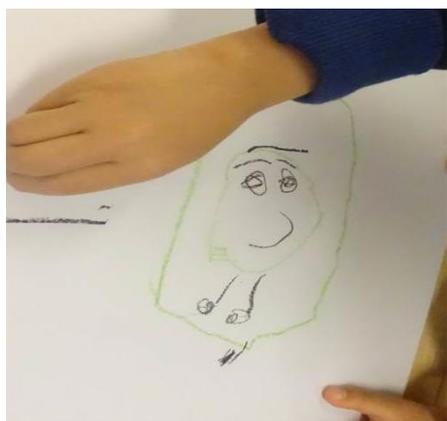
「ふわふわ～！」「本物みたい～！」と大喜びのひかりさんでした。



そして、ポットで育ててきたそらまめが、どんどん成長し、大きくなってきたので園庭の畑にお引越しました。みんなでスコップを持ち、順番に植えて、水やりもしました。

「またお当番がんばらないとね。」とやる気満々の様子でした。

ベッド作りや栽培が進む中で、そらまめに対しての興味も膨らんできていて、ピアノの音に合わせて豆になりきって転がってみたり、みんなで丸くなってそら豆の花を表現してみたり、と様々な視点から楽しんでいます。



前回の絵画あそびでも、「そらまめを描いて。」と伝えられると、本当に様々な種類のそら豆が出来上がりました。写真のようにベッドで寝ているそらまめくんを描いてみたり、畑でお水をあげている様子を描いたり、大人がイメージするよりもたくさんの作品が出来上がりました。これからどのように遊びが進んでいくのか楽しみです。

“担任の思い”

発表会の話をした時に、今まで一緒に遊んできたことや楽しかったことを子どもたちと一緒に振り返りました。「こんなことあったよね。」「おもしろかったよね。」と話も盛り上がりました。子どもたちと話す中で自分も色々と思い返していましたが、様々な経験を通して自分に自信がついてきて、思い切って自分を表現することで、一人ひとりの個性がよい意味で芽生えてきています。保育園で生活する中で、だいちへの期待をもちながら、「自分」「友達」「自分より小さい友達」などを意識しながらも自覚に繋がってほしいと思います。そしてその自分らしさが一人ひとりの良いところに繋がるよう過ごしていきたいです。

林 奈津美

～だいちぐみ～

ねらい：「自分のことを自分でする」「気になることを、とことん深める」

うた：「ね」

4月からいきなり生活が一変するのではなく徐々に移行していければと、1月から“連絡ノート”を自分で書き持ち物の準備が出来るようにしています。初めは「ぼくのノート、こんなのにしたんだ」とわくわくしていても慣れてくると面倒に感じることもあるようで、「きっと明日も覚えてるよ、書かなくてもいいや」ということも出てきました。そんな時にも必要以上に書くよう進めることはせずに、実際に生活の中で“あった方が困らない”と実感することを大切にしています。また、自分の鍵盤ハーモニカを使うことで自分の持ち物の管理や、物を大切に扱うことを経験出来ました。

体育あそびでは、サーキットの他にルールのあるあそび等も行なっていますが、その中でも友だちと相談し作戦を立てたり、自分たちで工夫することで心の成長にも繋がっていきと考えています。

室内でボール取りゲームの経験を重ねた後に、今は園庭でラグビーを

行なっています。園庭に出て初めは、パウンドした丸いボールを捕まえるところからスタートしました。普段からサッカーや野球を楽しむボールを使ったあそびに日頃から親しんでいる子もいますが、一つのボールを追いかけて友だちと取り合うことに抵抗のある子も



もちろんいました。必死にボールを追いかけるうちに転んでしまい涙する姿もありました。それはボールが取れなかった悔し涙ではなく、擦り傷が出来たことでの涙だったのだと思います。友だちと体がぶつかることへの怖さもあり、なかなか前へ出られない子もいました。特にAちゃんは、ゲームが始まると後ろでみんなの様子を見守っていることが多く、その姿を見るとどうにかして友だちと協力する中での喜びを感じたり、Aちゃんが主役になれる方法はないものかと悩みました。

一方で、“ボールを取りたい”“勝ちたい！”という強い思いを前面に出し取り組んでいる子の姿もありました。

“ただただ痛い怖いだけの想いが残ってしまっでは意味がない。どのようにすればだいち組みんなにとってプラスの経験となるのか” そう考えている時に、体育あそびの吉井先生からも「このままの形でラグビーを続けていいものかどうか」とお話をいただきました。実際にその時点では、子どもによって温度差はあったと思います。そこで、それぞれの気持ちの差に応じたグループ分けをしてみることにしました。人数も半分に減ることで、ボールを取り合う際の安全面も守られると考えました。

第1グループは激しくボールを取り合う中で、取れなかったことに対して悔しさを感じ、初めはそこで止まってしまっていました。悔しい思いを体全体で表現します。しかし、少しして落ち着いてからゲームを再開し次は点が取れると、“次、頑張ればいいんだ”という気持ちが芽生えてきたようです。悔しい！でも次は絶対にとる！そんな表情が見られました。次第に自分が点を取るだけでなく、同じグループの友だちが点を決めたときには自然とハイタッチで喜んでいました。「私が取れなかった分も、よくぞ決めてくれた！」そんな言葉が聞こえてきそうなやりとりでした。

そして第2グループ。自分たちの出番が来るまでは、第1グループの激しいやり取りを静かにじっと見ている子、砂を指先でくるくると回し別の世界に入り込んでいる子も…。さて、自分たちの番が回ってきました。すると、今までは16人の中でなかなか前に出られずにいた子も、友だちを後ろから支えたりと自分なりの役割を見つけ、参加出来たのです。また、一週目二週目はほとんど後ろから見守っていたAちゃん、ずっと相手チームの守りを交わしボールを抱えられた時、きっとAちゃんの中で“いける！”と思ったのでしょう。そこから一気にゴールに向かい、点を入れられたのです。同じグループの子のみならず、その様子を見ていた第1グループのだいちさんからも歓声が沸きあがりました。「Aちゃん、すごいやん！」「やったね！」まさに、Aちゃんが主役になれた瞬間でした。そこからはAちゃんの表情も一変し、誰よりも早くボールに触れようとする姿がありました。

“担任の思い”

点を入れ、観客席（第1グループ）に向かって両手でガッツポーズを決めた時のAちゃんの笑顔は、普段のあそびの中とはまた違った想いを経験したからこそだと感じました。毎週のように擦り傷を作ってしまうこともあり吉井先生と共に進め方を悩みましたが、グループの人数調整や環境の整備など、安全面で出来る限りのサポートをしたうえで、心の成長に繋がる今回のような経験を大切にしていきたいと考えています。回を重ねていくうちに、子どもの方から

「今日は擦り傷も何もない！この前は怪我してたのにね。」という声も上がるようになり、あそびの中で自身を守る身のこなしを習得しているのだと感心しました。一つまた一つと日々大きくなっていくだいちさんの心の成長を見逃さずに、そしてそのきっかけを一つでも多く作っていきたいと思います。



河本 彩奈

保護者の方からのおはなしコーナー

「今日は何して遊んだの？」

「うーん、分からない。忘れた…」

家で園でのことを聞いても多くを語らない息子でしたが、ひかり組になってからは自分から楽しかった事、けんかした事など色々と話してくれるようになり、自分の言葉で一生懸命伝えてくれる事が、毎日の帰宅後の楽しみです。

ひかり組 かよさん

幼児クラスになり、「おれな!!」「おまえ…」と急に言葉遣いの変った息子。

家でもたまに言う事があり、注意すると「○○くんは～」と言い直すのですが、保育園に行くとまた、“おれ”と言っている姿を見ることがあり…。

内と外を使い分けることが出来るようになったんだと思う反面、私も言葉遣いには気を付けないといけないなと思います。

いぶき組 さとみさん

赤ちゃんのころから私やお兄ちゃん達に大好き大好きと抱きしめられてきたので、いまではゆいともあいさつのようにパパやママやお兄ちゃん達に大好きと抱きしめてくれます。しかし今では私が怒ると「ごめんなさい」ではなくて「大好きだよ」と言って抱きつこうとします。私も顔がほころぶのを心を鬼にして必死に止めますが、3人目ということもあってか最後には抱きしめてしまう甘い甘い親なのです。

でも最近、先生にも同じことをして許してもらおうとしていることを聞いて、先のことを思うと、何とかせねばと頭を抱えております。

つぼみ組 めぐみさん

息子はまだ言葉が少ないのですが、毎日その少ない言葉で一生懸命伝えてくれます。

「今日は保育園で何したの～？」と聞くと

「しゅんしゅ～（先生）」と絶対言い、「楽しかった？」と聞くと、「うん！」言ってくれます。照れ屋で恥ずかしがり屋で、未だに毎朝泣いちゃう息子ですが、先生が大好きで、保育園も楽しんでいるので、かえで保育園に入学させて頂けて良かったとすごく思います！

ふたば組 ゆかさん

下の学年のお友達のお世話をすることが好きで、特にめばえ、ふたばのお友達のお手伝いのできた日は嬉しそうに話してくれます。

だいち組のお友達のいいところをお互い言い合う時に、先生に「小さいお友達にやさしくできるところが素敵だね」と言っていたようで、喜んでいました。

だいち組 あやさん

「最近保育園で何をするのが好き？」と尋ねると、「うーん。折り紙かな！」とっていました。ひかり組のときは、自分で折ることが出来なかったのに、いつの間にかつるやつの箱などいろいろなものが折れるようになっていました。最近では小さい紙での折り紙にも挑戦しています。

だいち組 ゆかさん

ふたば組から通っている息子も、4月からだいち組になります。子どもの成長はいつも早く感じます。毎年、この時期になると鬼が来る？と聞かれます。もうすぐしたら鬼が来る話をしていて、顔色を変えた息子が、「もうひかりさんだから、鬼は怖くない」と……。

本当は怖いようですが……。

今年の節分の豆まきはどんな反応を示すのか、どんな成長ぶりが観られるのか楽しみです。

ひかり組 ますみさん

～お台所から～

2月になりました。まだまだ寒い日が続きますね。2月もたくさんおいしい冬の食材を子どもたちに食べてほしいです。

1月の食育活動の様子

・七草粥：「どうして七草粥を食べるのか。」「七草の種類」を子どもたちに説明しました。おやつの中には「美味しい!」「少し苦手・・・」などの意見はありましたが、みんな食べてくれていました。

・レモンジャム(だいち)：保育園で育てたレモンを使ってレモンジャムを作りました。

おやつ時間にパウンドケーキに塗って幼児さんで食べました。少し苦味もあったのですが、自分たちで作った事が嬉しそうでたくさん食べていました。

・雑穀米：見た目で苦手な子どもが多いかな?と不安だったのですが進んでたくさん食べてくれたのでこれからも提供したいと思います。

・おにぎりやさん：おやつ時間に子どもたちにおにぎりを握りました。「サイズはどうしますか?」などと会話しながら、鮭わかめおにぎりのおススメポイントなどを話しながらおにぎりやさんを、しました。いつもより多くお米を炊いたのですが、おかわりが続出でした。

2月に使う旬の食材

だいこん	かぶ	はくさい	ほうれん草
れんこん	こまつな	カリフラワー	ブロッコリー
にんじん	いよかん	ぽんかん	りんご

2月に予定している食育活動

- ・魚の解体ショー
- ・雑穀米の提供 全園児
- ・米みそ作り ひかり組
- ・「何々屋さん」 ふたば組
- ・じゃがいも餅づくり つぼみ組





- 2月22日(水)は移動動物園があります。当日の朝にご家庭である野菜を少し動物にプレゼントしてください
- 2月3日(金)は翌日の準備を行ないますので、早めのお迎えをお願いします。
- 2月20日(月)に全国私立保育園連盟の研究機構委員の方々(10名)が見学に来られます。

こんなことしたよ♪

1月13日(金)に夕方コンサートがありました。琴とオカリナの演奏者の方をお招きして、素敵な演奏を聴きました。大小さまざまなオカリナからはとっともきれいな音が鳴り、琴に合わせて様々な音楽を奏でていました。子どもたちの身近な曲が流れると、みんな口ずさんだり、身振りを交えたりしながら演奏を楽しんでいました。また、だいちさんは実際に琴に触れさせて頂き、音を鳴らしてみても楽器の感触を味わっていました。

心地よい音楽の中、素敵な夕方コンサートになりました。演奏者の皆様、また参加して下さった保護者の皆様ありがとうございました。



17日(火)には、浜脇小学校での合同避難訓練があり、ひかりぐみとだいちぐみが参加しました。小学生と一緒に避難をし、校長先生から震災当時のお話を聞きました。階段を登るのは大変でしたが、みんな自分の足で一生懸命頑張りました。校長先生のお話も真剣な表情で聞き、当時は大変さや恐ろしさを感じていました。子どもたちにとっても貴重な体験が出来ました。

★お願い★

- 駐車場は大変混雑しますので譲り合ってご利用ください。送迎時には15分を目安に退出をお願いします。
- 緊急連絡をする場合があります。お仕事がお休みの場合は担任に声を掛けてお知らせ下さい。
※29年度からシフト勤務の方は再度シフトの提出をお願いします。
- 子どもたちには肌着を着用して、厚着をしないよう習慣づけをして下さい。



2月の予定

- 3日(金) 節分・豆まきの集い
- 4日(土) せいちょう発表会
- 9日(木) 雪あそび(ひかり・だいち)
六甲スノーパーク
- 15日(水) だいち甲山
- 21日(火) 誕生会
- 22日(水) 移動動物園
- 24日(金) 月例健診
- 25日(土) 29年度新入説明会

3月の予定

- 1日(金) 酒蔵見学
- 3日(水) ひな祭り
- 16日(木) お別れ遠足(予定)
お弁当日
- 18日(土) 卒園式
3歳以下のクラスは家庭保育となります。
- 25日(土) 展示・1年締めくくりの日
給食はありません
新年度準備の家庭保育のご協力をお願いします。
- 27日(月)~31日(金)
29年度のクラスで過ごします